

用いて洗浄した。活性剤は ABS(アニオン性), APE(ノニオン性)の 0.1% 水溶液で,  $\text{Ca}^{++}$  と  $\text{Fe}^{++}$  を含む 102 p.p.m. の人工硬水を用いた。分散能は脱脂したカーボンブラック分散液を試験管にとり, よく振盪後一定時間静置して一定深さの位置から試料液を取り出し適当に希釈して吸光度により評価した。

3. 洗浄効果におよぼすキレート剤濃度の影響は ABS と APE では著しく異なり, ABS ではキレート剤の硬水封鎖当量濃度より, その 1/2, あるいは 2 倍の助剤濃度の場合のほうがかえって洗浄性がよかった。APE ではキレート剤の濃度の増加とともに洗浄性は単調に良くなる。高分子電解質の SPA はキレート価は高いにもかかわらず洗浄効果は高くなかったが, 分散能は良好であった。

#### B-34 洗浴中の金属イオンの封鎖と洗浄効果

大阪市大家政 ○佐藤 昌子  
奥山 春彦

1. 洗浴中に含まれる多価金属イオンが洗浄効果に有害であることが知られており, 市販洗剤中のトリポリリン酸ナトリウム(STP)の配合は主としてその封鎖にあるといわれている。本研究は種々の濃度の STP, EDTA, NTA, ポリアクリル酸ナトリウム(SPA)を硬水洗浄液に添加し, 金属イオンの封鎖と洗浄効果の関係を検討した。またこれら助剤について, 再汚染に最も関係の深い分散能についても検討した。

2. 天然の塵埃汚染布を作成し, ターゴトメーターを